私本管理Plus（プラス）

蔵書管理用のデータベースソフト。書籍の裏表紙などに記載されているISBN番号を利用して“Amazon”を検索し、タイトルや著者名などの情報を一括登録できるのが特長。また、書籍のタイトル、著者名、出版社名からISBNを検索する機能も備えており、ISBNが分からない未購入の書籍などの情報も登録できる。“Amazon”検索の結果からは、タイトルや著者名のほか、出版社、レーベル、価格、初版発行日などの情報が自動で入力される。また、複数の巻が出版されているシリーズものの小説やマンガの情報を、一括で登録することも可能。そのほか、登録された書籍情報を全文検索する機能や、データをバックアップしたり、CSV形式でエクスポートする機能を備える。また、同作者製のCGI「私本管理 GOOUT」を利用すれば、本ソフトのデータをPCや携帯電話のWebブラウザー上から一覧表示、検索できるWebデータベースを作成可能。

ポイント　1．操作はいたって簡単。ISBNの（国際標準図書番号）番号を入力するだけで、タイトルや作者名などが自動的に登録される。
2．書籍ごとの「詳細登録」「その他」画面を活用して、保管場所や読了日などの入力が可能

ダウンロード「私本管理Plus（プラス）」→＜EKAKIN’S　SCRIBBLE　PAGE＞を開く
＜ダウンロード＞→＜私本管理Plus　ver3.4.38>>ここから＞
入手先１:[ダウンロード]→＜実行＞
発行元を確認できませんでした。このソフトを実行しますか→＜実行＞
展開先のフォルダ（１１個のファイル）
参照(B)→＜デスクトップ＞→＜OK＞→＜展開＞→＜小熊のshihon＞

書籍の情報入力
＜ファイル＞→＜新規登録＞→＜タイトル登録＞→「ISBN番号」を入力→＜検索＞
↓
必要なデーターの殆どはオンライン書店「アマゾン」から自動的に取り込まれる
（タイトル、作者、発行所、サイズ等）
＜詳細登録＞
（定価、ページ数、発効日、発売予定日、内容、表紙等）
＜その他＞
（保管場所、読書開始、終了日等）

＜保存＞→＜終了＞

分類　＜カテゴリ＞から「タイトル」の中の一覧表から一冊選んでダブルクリックする
＜登録画面＞がでてくる
「分類」欄にカテゴリーの名前を入力する→＜保存＞
↓
画面左側のカテゴリー欄に「フォルダー」が現れる
↓
「フォルダー」をクリックするとそのカテゴリーに分類した本の一覧が見れる

詳細登録で内容確認
書籍ごとの「登録画面」は、「タイトル登録」「詳細登録」「その他」の三つのページに分かれている
「詳細登録」には定価や発効日、本の内容紹介などがアマゾンから取り込まれている。
「その他」には「保管場所」や「読了日」などを入力できる。
又、各ページには備考欄があり、感想等もかける。

検索　「タイトル」「作者」「分類」「キーワード」等から本の検索ができる。

データベースソフト「私本管理」のカスタマイズ

ms_takatsuki

上に紹介された私本管理というソフトは大変便利でよくできたソフトですが、項目名や分類などを使い手の好みでカスタマイズするとさらに便利になります。
カスタマイズするのは登録画面の項目名やリストなどである。
カスタマイズの方法は
項目名：設定（メニュー）＞項目名設定＞出てきたリスト名を書き換える
書き込み欄データリスト：書き込み欄に新しいデータを書き込むとエクセルのリストのように右の虫眼鏡ボタンをクリックするとそれまで入れたデータが表示される。ダブルクリックで決定する。

私はカスタマイズしたのはタイトル登録タブ内の分類、その他タブの評価などです。
図１はタイトル登録画面で分類リストを展開したところ、図２はカスタマイズしたその他タブです。

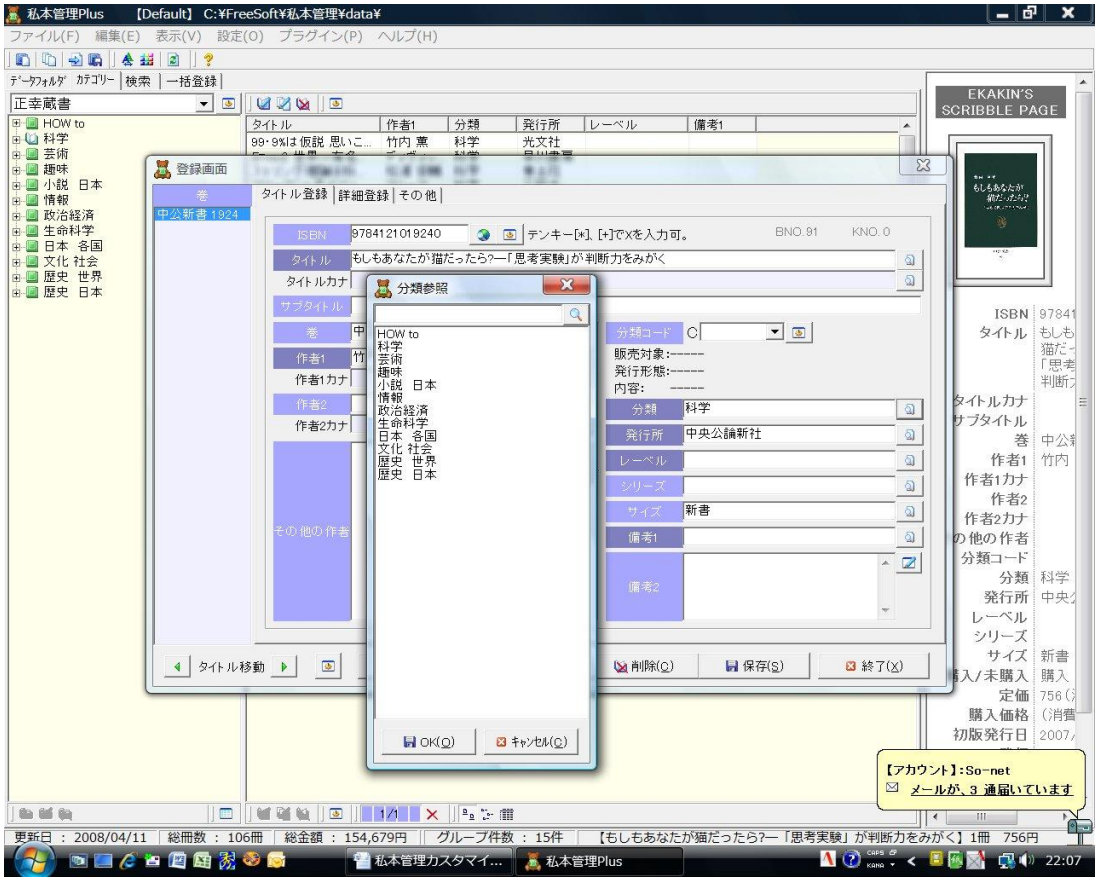

図１

図２

また、本の入力は紀伊国屋書店のデータベースから目的の本を検索し、ISBN 番号をコピーし新規登録タブの ISBN 欄に貼り付けて検索しています。